

---

# 雨ときどき砂。

梨ムラサキ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雨ときどき砂。

### 【コード】

N6099H

### 【作者名】

梨ムラサキ

### 【あらすじ】

都市は荒廃して、ほとんどは海の下。男は女に声をかけられて、街をさまよう。

「ねえねえ。あんた、今一人？」

夏休みに一人で街を歩いていたら、急に知らない女が声をかけてきた。そもそもこの街に知り合いなんて一人もいないのだから当然のことだが。少しクセのある黒髪で夏の割には色が白い。見た目はまあ、普通だな。こんな街を一人で歩いているくらいだから、多分金持ちの女だろう。おまけに見せびらかすような真っ黒い雨傘。素人目に見ても高級品だと分かる。

「何ジロジロ見てんのよ。そんなにこの傘が珍しい？」

「別に。」

「せつかくあたしから声をかけてやったのに、なんなのその態度。」

これだから金持ちの女は困る。甘やかされて育ったんだろう、箱入り娘には見えないが、こんな街中で堂々と黒い雨傘をアピールしてる様子を見ると、常識は無いと見える。

「その傘、カーラ・アンブレラ社のだろ。んなもん持ち歩いてると、襲われるぞ。」

「ああ、大丈夫。あたしこっぴどく見えてもかなり強いから。」

そう言つてヘラヘラと笑う。なんだかまあ、変わった女だ。確かにこの街は他の街に比べて治安もいい方だし、どちらかというと言層の多いところだ。だが、それを狙った犯罪者も多い。

むこうの意図を探ろうにも、多分こいつはなんも考えてねえ。そう  
としか思えない。

傘ばかりに気を取られていたが、よく見ると服も高そうだった。フ  
エイクじゃなく本物の革のジャケットを着ているようだ。この時代、  
牛革なんて骨董品だ。

「金持ちなんだな。」

「ご名答！だからさ、どっか付き合つてよ。あたし今すつごく暇な  
んだ。」

このしゃべり方、アホ丸出しだな。17かそこらだろう。まあ金が  
ありそうだし、少し遊んでみるのも悪くない。

「どこに行くつて？」

「どこでもいいよ。なんか楽しいところはないの？この街で人が集  
まるところとか。」

ん？

「この町に住んでるんじゃないのか？お前。」

「ん〜、住んでることは住んでるけど、外には出してもらえないんだ。」

「どうやら本物の箱入り娘らしい。」

「この年で外で遊べないのは、この女の性格なら地獄なんじゃないか？想像するとぞっとするな。」

「金持ちも意外と大変だ。だからこそ俺は今の生活が気に入ってるんだが。」

「俺がすこし考えるような表情をしたせいかな、あわてて付け加える。」

「あつあの、小さいときから体が弱くてそれでね。そりゃあ、何度も死にかけてたわ。」

「今ではこのとおり、とバレリーナさながらにスカートを翻してくるりとまわり、俺にウィンクした。」

「そんなふうには話しながら歩き続けて気がつけば、地下通路の入り口に来ていた。」

「地下にいったことはあるか。」

「ないよ。地下はすぐ水没しちゃうんだって聞いたけど。」

「まあ、な。」

「この女はまた簡単に“水没”と口にするもんだなと、苦笑いしそうになった。」

緩やかな坂を下り続け本当の街にでた。

「これが、街なんだよ。覚えときな。」

「すごいなあ。絶対に忘れないよ。」

そういって女はさらさらと砂になって消えた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6099h/>

---

雨ときどき砂。

2010年10月12日13時49分発行